

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2019年6月)

【内政】

- 20日、タロン大統領は、暴動が発生した北部の都市チャウル(Tchaourou)市(ヤイ・ボニ前大統領の出身地)の代表団を招き、意見交換を行った。(21日、L'Économiste 紙)
- 22日、約50日間に及ぶヤイ・ボニ前大統領宅の治安当局による包囲が解かれ、同前大統領は治療を受けるため国外へ出国した。(24日、Le Matin Libre 紙)

【外政】

- 20日、タロン大統領は、ナイジェリアを訪問し、ムハンマド・ブハリ同国大統領と会談した。会談内容は公表されていないが、メディア筋によれば、ベナン国民議会議員選挙後の危機について話し合ったとされている。(21日、L'Économiste 紙)

【治安】

- 10日、北部チャウル(Tchaourou)市において、国民議会選挙後の暴動による逮捕者の解放を訴える地元住民と警察との間で衝突が発生した。抗議者集団は警察署を襲撃し、市内の道路を占拠した。この暴動により、コトヌ・パラク間の幹線道路が封鎖された。(11日、Le Matin Libre 紙)

【経済】

- 21日、IMF理事会は、ベナンに対する2,210万USドルの融資を決定した。ベナン政府のマクロ経済及び財政運営の良好なパフォーマンスによるもの。(27日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 3日、タロン大統領は、コトヌ大司教を訪問し、1時間ほど対談を行った。内容は不明。同大統領と野党勢力との仲介を要請するものであったと見られている。(5日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 12日、在ベナン・キューバ大使は国民議会のルイ・ヴラヴォヌ議長と面会し、議長就任に関する祝辞を伝えた。(14日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 20日、タロン大統領は、暴動が発生した北部の都市チャウル(Tchaourou)市(ヤイ・ボニ前大統領の出身地)の代表団を招き、意見交換を行った。(21日、L'Économiste 紙)
- ・ 22日、約50日間に及ぶヤイ・ボニ前大統領宅の治安当局による包囲が解かれ、同前大統領は治療を受けるため国外へ出国した。(24日、Le Matin Libre 紙)

- ・ 25日、国民議会のルイ・ヴラヴォヌ議長は、ペン・ジンタオ在ベナン中国大使と面談した。ペン大使は、中国全人代による議長就任に関する祝辞を伝えた。(26日、Le Matin Libre 紙)

【外政】

- ・ 13日、オルシェグン・オバサンジョ元ナイジェリア大統領とジョン・クフォー元ガーナ大統領は、ベナン国民議会議員選挙後の危機に対する解決策を模索すべく、アフリカ連合及びECOWASの介入を呼びかけた。(14日、L'Économiste 紙)
- ・ 20日、タロン大統領は、ナイジェリアを訪問し、ムハンマド・ブハリ同国大統領と会談した。会談内容は公表されていないが、メディア筋によれば、ベナン国民議会議員選挙後の危機について話し合ったとされている。(21日、L'Économiste 紙)
- ・ 24-25日、北京で開催されたFOCACフォローアップ会合に、アベノシ外務・協力相が参加し、「一帯一路」協力覚書に署名した。(27日、La Nation 紙)

【治安】

- ・ 2日、ダッサ・ズメ市アコフジョレ(Akoffodjoulè)区において、畜産業者と農業経営者が対立し、5名の死者及び6名の逮捕者が出た。(6日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 4日、トーゴ国境アティエメ(Athiémé)税関は、41キログラムのインド大麻を押収した。(6日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 6日、北部ニッキ(Nikki)で運営される綿花の脱種工場で火災が発生し、木綿600トンと小型トラック2台が焼失した。火災の原因は、小型トラックの操作ミスであると想定されている。(11日、L'Économiste 紙)
- ・ 7日、ウンパタン保健大臣は、国民に対しデング熱の発生を警告する声明を発出した。(11日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 10日、北部チャウル(Tchaourou)市において、国民議会選挙後の暴動による逮捕者の解放を訴える地元住民と警察との間で衝突が発生した。抗議者集団は警察署を襲撃し、市内の道路を占拠した。この暴動により、コトヌ・パラク間の幹線道路が封鎖された。(11日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 内務・治安大臣付技術顧問は、10日から15日にかけてのチャウル市及びサヴェ(Savè)市における地元狩猟者と警察との衝突により、約50名ほどの警官隊が負傷(うち10名ほどが重傷)し、伝統的狩猟者のうち数名は警官隊により射殺されたことを発表した。(17日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 5月1日のパンジャリ公園でのフランス人観光客ら拉致事件を契機に、ベナン政府はパンジャリ公園の治安維持にあたる兵士150名を配備した。(14日、L'Événement Précis 紙)

【経済】

- ・ 11日, 赤道ギニアの首都マラボで開催されている「アフリカン・バンカー・アワード2019」において, ワダニ経済・財務大臣はアフリカ諸国の最優秀財務大臣に選ばれた。(12日, L'Économiste 紙)
- ・ 13日の閣議は, ベナンの主要4都市において, 合計50メガワットの太陽光発電施設を建設することを決定した。(14日, L'Économiste 紙)
- ・ 14日, コトヌにおいてロシア・ベナン間のビジネス及び協力促進のためのセンターが開所した。同センターは経済, 観光, 文化の面において, ロシアがアフリカで展開する際の窓口となる。(18日, La Nation 紙)
- ・ 17日, タロン大統領はナイジェリア人富豪のトニー・エルメルを招き, 若手起業家の育成について意見交換を行った。(18日, L'Économiste 紙)
- ・ 21日, IMFの理事会は, ベナンに対する2, 210万USDルの融資を決定した。ベナン政府のマクロ経済及び財政運営の良好なパフォーマンスによるもの。(27日, La Nation 紙)
- ・ 27-29日, 中国長沙で開催された第1回中国アフリカ経済貿易博覧会(CAETE)にアイス産業・商業相及びガンベ投資・輸出促進局(APIEX)長が参加した。(7月11日, L'Événement Précis 紙)

【文化・その他】

- ・ 11日, 2019年初等教育終了証書(CEP)取得試験がベナン全土で開始。受験者総数は, 219, 241人にのぼる。(11日, La Nation 紙)
- ・ 13日, 2019年前期中等教育終了証書(BEPC)取得試験の結果が公表され, 56. 72%が合格となった。(昨2018年の合格率は, 28. 63%)(14日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 19日から20日間, ベナン人ジャーナリスト20名が中国で技能研修を受ける。研修目的は, 中国でのジャーナリズムの発展, 中国メディアの機能, ジャーナリズムに関する中国の考え方等包括的に知ることである。(20日, L'Économiste 紙)
- ・ 19日, ベナン全土で2019年バカロレア取得試験が始まった。142の会場で100, 017人の受験者が登録している。(19日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日, 中国文化センターは, 雲南省芸術団による音楽, ダンス交流会を実施した。また, 同日から7月上旬まで雲南省風土写真展及び郷土衣服展, 並びに中国刺繍・切り絵講習会を開催する。(24日, L'Économiste 紙)